

がくじ 学 而

摂南大学図書館報

No.94 2013.3



天下茶店村
是齊茶店



攝津名所圖會
住吉郡一

「攝津名所圖會」(せっつめいしよづえ)
摂津国の名所を絵と文書で紹介した地誌
[本館地階 貴重図書室保管]

<CONTENTS>

基礎的な教養を身につける	トピックス	8
図書館長 小川英一	枚方分館ニュース	9
漢字と法律	図書館利用統計	10
法学部長 教授 小山昇	図書紹介	11
関西で開始された訪問看護事業	ジャパンナレッジ・横断検索	12
看護学部長 教授 後閑容子	摂大文化大賞、編集後記	16

基礎的な教養を身につける

図書館長 理工学部 教授 小川英一

図書館長に就任して1年弱が経過した。この間を振り返り、読書や学習の状況から図書館のあり方について、個人的な思いを記してみたい。

○基礎的な教養が必要なとき

我々を取り巻く環境は急速に変化し、混乱期に入っている。日本は経済成長の後、社会の共通ビジョンや理念を示すことができなかった。そのため、現下の混乱期を乗り切るだけの共通の知的基盤や、国民が共有できる目的の構築ができていない。迷走は長く続き、多くの制度が変革に晒されている。

社会と学生との間をつなぐ大学も例外ではなく、入り口では少子化、出口では経済状況の悪化の影響を直接的に受け、変化を強いられている。社会の変化に対応できる学生の養成は大学の役割であるが、知識層となる学生に変化しない本質を提供することもまた大学の大切な役割である。特に、時代の節目では不変的な本質を見極めるための「基礎的な教養」が必要になる。時代の試練を経て受け継がれてきた基礎的な教養を身に付けることによってのみ、現在の変化を過去の事例と正しく参照でき、未来を切り開く力を養える。

基礎知識の継承は、抽象的な概念も含むため、書物を読むことによってしか成されない。電子書籍が普及しても、書物の重要性は変化しないであろうし、基礎的な教養を身に付けるには読書しかない状況に変わりはない。そのためにはどんな書物を読めば良いかが問題となる。基本的には、多くの書物を読んでその経験から見つけるしかない。しかし、今の時代には様々な分野でいわゆる古典と称される基本的な教養書をまず読んでほしい。見過ごされがちだが、世界共通の知の基盤は見えないながら厳然と存在する。基盤を欠く教養は成り立ちえないし、世界共通の言語を持たないことと等しい。そのため知の集積である図書館が存在する。若い人たちは書物を通して過去の知と対話してほしい。

このような知的作業はグループ学習には馴染まない。一人でじっくりと書物を読む必要があり、長時間読書

に没頭できる環境が不可欠である。大学図書館としては、まずこのような学生にとって居心地がいい読書環境を提供するように心がけたい。すなわち、にぎやかで楽しいが散漫になりがちなグループ学習よりも、一人静かにじっくりと個人学習できる環境を優先して提供したい。

○高校教科書の活用

書店の棚を覗くと、勉強法や読書術の解説書、難解な古典や国際情勢、仏教やキリスト教を解説した新書が隆盛である。おそらく暗黙のうちに多くの日本人が、今こそ基礎的な教養が必要なことに気づいているのではないだろうか。

基礎教養を身に付ける上で重要なのは、高校までの知識である。理系・文系を問わず、高校までの知識が屋台骨になる。この基盤に欠損があれば、大学生や社会人以降に習得する様々な知識が深化することは期待できない。

入試問題の作成や点検の作業で高校の教科書を読まれた方は多いと思う。筆者も数学や物理、地理や世界史などの教科書を読んだが、実によく書かれている。筆者の専門では光や電波を扱うが、教科書には波動の数式や現象が分かりやすく見事に説明されている。これらを習得していれば大学入学後、すぐにも卒業研究を始められるといっても過言でないほど高校の教科書は充実している。

一方、自分に欠けている分野を正直に見つめることも大切だ。高校教科書は様々な分野を非常にバランスよく記述しているので、通読すれば自分の知識が不十分な部分を客観的に把握できる。欠損している分野に気付きさえできれば、その補充は容易だ。自己を客観視する訓練にもなる。社会人に向けて就職活動している学生は高校教科書の活用も心がけてほしい。

最近、読書界の話題となっている本(佐藤優「読書の技法」東洋経済新報社、2012年7月)にも高校教科書を丁寧に読むことの重要性が述べられており、意を強くした。著者が指摘しているように、大学受験の学習参考書は社会人となった後に読み返しても得るところは



大きい。大学生になった後も必ず役に立つ。基礎教養を身に付ける場合、まず、現在の自分を正しく見つめ学び直す姿勢が大事だ。

受験参考書は書店にあふれているが、教科書は大きな書店でも殆ど置かれておらず、購入しようとすると取り寄せになる。図書館の寝屋川本館では教職コーナーに配架しているが禁帯出である。今後は教科書や受験参考書を充実し、一般の本と同じように貸出できるようにしたい。

○グループ学習の場

最近、グループ学習やチーム学習などが重視されるが、前提はあくまでメンバー各人の知識である。グループ学習には一長一短がある。個人の知識が低いとグループの成果物が得られず単におしゃべりで終わってしまう。一方、全員が調べ、持ち寄り、互いの知を高めれば学習の到達点を高めることができる。また、コミュニケーション能力の向上も期待できる。

近年はラーニング・コモンズと呼ばれる研究・学習支援機能を強化したスペースを設ける大学図書館もある。そこにはネット環境や、移動や組合せが自由にできる机と椅子が置かれ、ティーチングアシスタントが支援する体制が整っている。グループ学習では会話もできる。図書館やその場に用意された資源を利用することによって創造性を磨き新しい発想を得る場として考えられたものである。国立大学などに比較的早く設けられたが、これは本来の目的以外に学生の学習支援も兼ねているのではないかと個人的には推測している。すなわち、本学はじめ多くの私学には既に設置されている学習支援センター的な役割も期待されているのではないかとと思われる。

本学館内での学習状況を見ると、必ずしも図書館本来の資源を利用しておらず、いわゆる持込みで試験勉強や課題・レポートに取り組んでいる個人やグループが殆どである。学生からは、理系の学生は学習支援センターで勉強し、文系は図書館で勉強することが多い、とも聞く。勉強したい学生の利用は歓迎だが、場所さえあれば図書館でなくてもいいようにも見受けられ

る。学習方法の多様化に対応して、本学にも将来的にはラーニング・コモンズが必要となるが、学習支援センターや自習室など、落ち着いて勉強ができる場の拡充を優先的に考えたい。

○静寂な環境の確保

基礎教養を軸に読書と図書館での学習環境について述べたが、最後に、具体的な図書館の環境について触れておきたい。図書館サービスに関する最近のアンケート結果では、枚方分館では静かな環境が保たれているが、寝屋川本館では「騒がしい。静かにするよう注意してほしい」という苦情と要望が増えた。特に、試験期間中は多くの学生が集まり、個人席もグループ席も満席で、全館で騒音が増える。

筆者も館内を巡るが、以前は「雑音はあるが、まあ、これくらいはいいか」という程度であった。学生にあまり厳しくするより図書館を気軽に利用してくれれば、という思いだった。しかし、この半年くらいは特に騒がしさとマナーの低下が目立つ。騒がしい場合にはスタッフが注意し、時には館内放送しているが効果は続かない。図書館において静寂さが重視されない風潮にも基礎教養への軽視が伺え、逆説的にその重要性が浮かび上がってくる。

一方、多様な利用方法に対応できて、かつ、静寂性や快適性を確保する施設の工夫も必要である。静寂な環境が必要な個人学習用のサイレントゾーン、議論を必要とするグループ学習用の会話可能なゾーン、図書館の資源を必要としない学習のための自習室の設置など、用途に応じたエリアの明確化を図りたい。まずは、机や椅子のレイアウト変更や間仕切りの増設だけで対応可能かどうか、等の改善策を検討する。



漢字と法律

法学部長 教授 小山 昇

齢を重ねると昔のことが気になるものである。平成も四半世紀となり、昭和はすでに過去の時代となった感があるが、昭和の時代に育った者として、今感じていることを書き留めておきたい。

コンピュータが発達し、今では、手書きよりもワープロソフトでのプリントアウトが普通である。下書きを清書するためにワープロを使うのではなく、画面の横書きの文章を見ながら考えをめぐらせる、ということが何の違和感もなくなっている。画面を縦書きの表示にして入力することは、非常に少ないのではないだろうか。

日本語は、下から上に書くことを除いて自由に表記できる便利な言語である。しかし、上から下へそれを右から左へと続ける縦書き（右縦書き）は、最も長く使われてきた表記方法である。日本語で書かれた文章を読むとき、縦書きか横書きかどうかで頭への入り方が違う、と感じる人は少なくないと思う。手書きする場合も、ノートなどには横書きでも、手紙や葉書などは縦書きにする、ということはないだろうか。

縦書きにこだわってみることで、日本語の良さを、さらには言葉の大切さを意識することができると思うからである。

日本語は、漢字を中心に平仮名と片仮名が加わって多種多様な表現が可能となっている。二千年ほど前に中国生まれの漢字が伝わり、祖先は、これを我々の言語を書き表す文字として採用し、さらに、漢字の字画の一部を独立させた字体の片仮名、漢字の草書体を平易にした平仮名を生み出してくる。語形変化がなく接辞を伴わない孤立語である中国語で用いられる漢字は、表音文字として使用されて「万葉仮名」が生まれ、さらにそれは、片仮名・平仮名へとつながって日本語化していくのである。

我々は、一字で一語を表すことができる漢字と、それ自体は意味を示さない仮名とを組み合わせることで自由に考えや気持ちを表現でき、それはまた、社会のルールである法律を記述することにもなる。

「一曰、以和爲貴、無忤爲宗。…[一つに曰く、和(やわら)を以て貴しとし、忤(さか)ふることを無きを宗とせよ。

…]」は、日本書紀の推古天皇12年夏4月の箇所に書かれている有名な十七条憲法の最初の部分であって、これは漢字のみで書かれているが、現在の法律は漢字と平仮名で記述されている。我々の生活関係を規律する民法などの明治時代に作られた法律は、漢字と片仮名で書かれ、濁点や半濁点、句読点も省略されていたために、それを補って読まなければならなかったが、民法も平成16年の改正によって残されていた部分が現代語化されて、現在、片仮名表記が残っているのは、手形法や商法第3編海商など僅かになっている。

法律は人々の行動規範となるために、正確にその意味を伝える必要がある。そうすると、用いられる言葉も正確さを期すために、多くの漢字を使って表現する必要があるが、その使用が制限されているという事実があるのである。

漢字使用を制限しようとする動きは、既に明治時代に始まっているが、太平洋戦争後により顕著になってくる。昭和21年11月16日内閣告示第32号の「当用漢字表」である。法令・公用文書・新聞・雑誌および一般社会で使用する漢字の範囲として1850字を示し、この表で書き表せない言葉は、「別の言葉に代えるか、仮名書きにすること」を求め、漢字の廃止を念頭に、当面使用してもよい漢字を明らかにしたのである。「固有名詞はその対象外」とはされたが、この表は我々に重大な影響を及ぼすことになるのである。

親が自分の子に名前をつけようとする場合、戸籍法は、「常用平易な文字」を用いなければならないとし、その文字の範囲は法務省令で定めるとしている（戸籍法50条）。そして、現在の戸籍法が制定された当時の戸籍法施行規則（昭和22年12月29日司法省令第94号）60条は、「当用漢字表」および「片仮名と平仮名」をその範囲とした結果、当用漢字表にない「弘、智、聡、瞳」といった名前はつけられないことになり、「岡、阪、奈」といった平易な文字も含まれなかったのである。

そこで、これを回避するために考え出されたのが、「人



名用漢字」である。漢字表は、国語政策であり当時は文部省の国語審議会で審議されるものであったが、戸籍のことは法務当局(当時は、法務府)が独自に決定できるとして、昭和26年10月22日法務府令第154号の戸籍法施行規則60条は、戸籍法が規定する「常用平易な文字」に「昭和26年5月内閣告示第1号人名用漢字別表に掲げる漢字」という項目を加えたのである。この別表には、「弘、智、聡、奈」のほか「宏、晃、尚」など92字が入ったが、「瞳、岡、阪」は含まれることはなかった。人名用漢字という名称であるが、内閣の告示という権威を使っていることからわかるように、当用漢字表による使用制限の実質的回避を意味し、これを改正することで戸籍を含む公用文に使える漢字を拡大できる道を作ることになるのである。

しかし、25年後の昭和51年には、さらに「人名用漢字追加表」(「瞳」のほか「梓、喬、杏、怜、茜」などを採用)が付加され、法務省と国語審議会とが対立しかねないこともあったが、「一般的な社会生活における現代の国語を書き表す目安」という方向に舵がきられることとなった。昭和56年10月1日内閣告示第1号の「常用漢字表」1945字がそれである。

もともと、同年改正の戸籍法施行規則60条に掲げられる漢字表は、「当用漢字表」から「常用漢字表」に替えられたが、「人名用漢字表」や「人名用漢字追加表」で認められた漢字のすべてが常用漢字表に入ることはなく、この二つ漢字表から常用漢字表に採用されたのは、「尚、杉、斉、悠」など僅か8字であって、残された漢字はさらに「別表第二に掲げる漢字」と名前を変えて「常用平易な文字」の仲間入りをしたのである。

この別表漢字は、その後何度も改正されて平成16年改正で983字にもなり、必然的に漢字表自体の改定が求められることになった。戦前からあった国語審議会が平成13年に廃止され同年にできた文化審議会国語部会は、平成22年に「改定常用漢字表」を答申し、新しい常用漢字表(平成22年11月30日内閣告示第2号)2136字が施行されるに至ったのである。昭和

56年「常用漢字表」から5字が削除され「岡、阪、嵐、茨、奈」などの196字が追加されたもので、これに伴い改正された現行の戸籍法施行規則60条は、新漢字表での字数拡大が僅かなこともあって以前の「別表第二」という項目を残し、「伊、怜、絆、畠、灘」など600字以上がそこに規定されているのである。

このように、国語表記の基準としての漢字表と法律文書で使われる漢字との動きは、日本語における漢字の位置づけという点で重要な流れである。常用漢字表は、一般社会では、国語として漢字使用の「目安」とされるが、法令や判決文などでは単なる目安ではなく遵守すべき基準とされ(「公用文における漢字使用等について」平成22年11月30日内閣訓令第1号)、「別表第二」という手法を使って実質的に漢字表を修正しているのである。

漢字廃止論や英語公用語論といった主張は、漢字を習得する難しさと結びつくものではあるが、科学技術の発達により、書けない漢字もワープロソフトで書けるようになってきている。米国生まれのコンピュータの発達は、数万もの漢字の処理を即時に可能とし、活字を使わずに簡単にしかも美しく文章を印刷できる。しかし、この便利さは、手書きを減少させ、正確な漢字が書けないということも生じさせる。さらには、語彙力をも低下させ、同音異義語が多い日本語では、誤変換による誤表記に気づかないことも起こる。

外国との距離がより近くなった今こそ、正しい日本語を確認すべきであり、その習得のためにも手書きをする機会を増やし、古くからの表記である縦書き文章を多く読むことが必要であると思われるのである。「弘、宏」(人名用漢字)を「広」(常用漢字)に代えることはできない。幸い、新聞や雑誌、新書や文庫など未だ多くの印刷物では縦書き文章が見られるので、まずは、それらに接することをこれまで以上に意識したいと思うこの頃である。



関西で開始された訪問看護事業

看護学部長 教授 後閑 容子

多くの在宅療養者が、平成4年に施行された老人保健法に基づいて訪問看護を利用するようになりました。特に、介護保険法の実施以降、その利用者が増加してきています。現在、年間延べ約30万人の在宅療養者が訪問看護を利用していますし、訪問看護に従事する看護師数は4万人を超えています。我が国における訪問看護の歴史は明治年代にそのルーツを遡ることができます。特に、看護の専門の教育を受けた看護師による訪問看護は、明治に開始されました。関西においてもその開始は古く、我が国の訪問看護の礎を築いた歴史があります。ここでは、関西で始まった訪問看護を明治年代のLinda Richards(リンダ リチャーズ)と昭和年代の保良せきの二人の足跡から辿ることとします。

【Linda Richards】京都看病婦学校における訪問看護の教育と実践

明治19年(1886)10月、新島襄、山本覚馬、中村栄助、松山高吉、伊勢時雄らは、看病婦学校設立趣旨として、イギリスにおけるナイチンゲールの活躍とナイチンゲール式看護婦教育が社会から高い評価を受けていることを紹介して、日本においても看病婦学校を設立する必要性を发起人として訴えました。新島らは、米国海外伝道団体、アメリカンボード(American Board of Commissioners for Foreign Missions)から資金援助を受けて、京都に看病婦学校を設立し、リンダリチャーズを教育の責任者として招くことを決めています。ちなみに、設立趣旨にある看病婦教育は1年6ヶ月の期間とし、最初の1年は学内での講義と病院内での勤労をし、残る数ヶ月は実地経験とするものでした。授業料はありませんが、食費を当時の物価に応じて徴収することになっていました。当初は月二円五十銭としていた記録があります。入学者は年齢30歳から40歳を適格とし、健康であること、文字を書けること、物事を観察する敏捷精密なことなどに加え、聖書の文義を理解することを加えています。教育内容として、看護や医学、薬理学に関する科目を詳細に決めています。その中には、「貧困ナル病人ノ為メニ其

家ニ入テ働クノ心得」が入っています。すでに、現在の在宅看護学に通じる教育内容を備えていたことが伺えます。

京都看病婦学校は明治19年(1886)に設立し、明治20年(1887)11月15日開業式を迎えました。設立した明治19年に4名の生徒が入学し、勉強を始めました。第一回卒業生4名は明治21年(1888)年6月26日に卒業しました。その後、教育期間を2年、入学者の年齢を22歳までとする変更などを行っていました。

リンダ リチャーズは、この京都看病婦学校設立の準備にあたるとともに教育、病院における看護の実践と指導にあたっています。リンダ リチャーズは、アメリカンボードのWomens' Boardから支援を受けたMissionaryでもありました。彼女は、America's First Trained Nurseとして、米国でもすでに活躍していた著名な看護婦でした。彼女は、日本では看護の指導者としての役割とともに宣教者としての役割も果たしており、自ら看護の現場に立ち続け、それは病院にのみならず、週一回は貧しい患者の家に訪問し看護をしていたりもしていました。

彼女は看病婦学校の生徒たちが二年目になった1887年から、生徒たちを、病人の家に看護のために訪問させていました。このような看護婦たちを当時から派出看護婦と称しており、現在の訪問看護の原点と言えます。当時、教育を受けた看護婦は珍しく、彼女たちの看護の質の高さから社会的評価は高かったことが資料からうかがえます。この当時のエピソードは彼女の回想録にも記載されています。例えば、ある高名な役人の夫人がジフテリアにかかったため、訪問看護に行った時のことでした。家政婦ではない看護婦の訪問看護を受けることにためらいがあった夫人でしたが、彼女たちの完璧な感染予防対策や看護に次第に受け入れてくれたという記録があります。夫人は、彼女たちが実施した看護を“in the new experience and beautiful care”と、たいへん快適であり満足したと記しています。また、看病婦学校の学生が経験したことに対して、日本の文化の違いにも触れています。例えば、訪問した

家庭での男女の立場の違いといったことです。

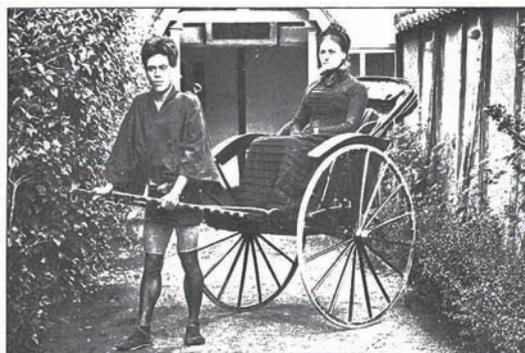
当時の看護婦には、全く教育を受けていない者から、即成の教育を受けた者、同志社看病婦学校のように2年間の教育を受けた者まで、その教育的背景は多様でした。The Seventh Annual Report Of The Doshisha Mission Hospital And Training School For Nursesでも、同志社病院及び同志社看病婦学校で実施していた訪問看護を報告しています。1892年から1893年3月までの活動では、地区の施療所を拠点とし、訪問看護を中心とした地区看護活動(District Nursing)を実施したこと、地区看護活動を行うために同志社病院地区看護婦組合が組織されていたことを記録しています。看護婦は医師の監督の元に訪問看護を行うこと、これらの活動はキリスト教の布教の一部であることなどを決めていました。この訪問看護は無報酬であり、夜間の看護は行われませんでした。このように、教育を受けた看護婦による訪問看護が明治年代にすでに、関西の地で開始されていたことは興味深いことです。後に、京都看病婦学校の卒業生が中心となって、京都、大阪の地で、派出看護婦としての活動が始まっています。しかし、残念なことに、この時代の訪問看護活動は、同志社病院と看病婦学校の閉鎖があり、永く継続されませんでした。

【保良せき】公衆衛生看護としての訪問看護活動の開始

保良せきは1893年長野県で生まれ、東京慈恵会医院の看護婦養成所で勉強したのち、1921年、キリスト教婦人伝道師になるために渡米しました。その後、看護婦として米国で働き、コロンビア大学ティーチャーズカレッジで学び、ニューヨークの貧民街ヘンリーストリートセツルメントで活動しました。ここで、彼女は公衆衛生看護の先駆者として有名な Lillian D. Wald(リリアン D ウォルド) の影響を受けました。当時ニューヨークの保良を訪問した湯巻ますは、黒マントを着て活動する姿に「ただただ偉いなあと思った」と感じたことを話していました。保良は、帰国後、大阪において訪問看護事業を展開することになりました。東京では聖路加

国際病院公衆衛生看護部が訪問看護や健診、健康教育などの公衆衛生看護活動を開始していたのと同じ時期でした。

保良は、大阪朝日新聞社の支援を得て、大阪朝日社会事業公衆衛生訪問看護協会で事業を開始しました。事業内容は、家庭訪問、相談事業、栄養指導、牛乳の無料配給あっせん、家族計画指導、伝染病の予防と対処など、ヘンリーストリートセツルメントの活動とほぼ同じものでした。さらに、保良は公衆衛生訪問看護事業を行うために必要な人材育成として、公衆衛生看護婦の教育も実施しました。それは、一年間の教育で、看護の基礎的な内容は勿論、社会福祉、医学の基礎をはじめとする学習とともに、衛生教育、相談事業、訪問看護などの学習を入れた教育課程を構築しました。入学者は、高等学校を卒業している者とし、中には、当時の高等専門学校で家政学を学んだり、教員の資格を持っている者もいました。大阪での活動は広範囲及び、訪問看護も大変活発に行われていたようです。この当時の訪問看護活動は、大阪の地をはじめ我が国の公衆衛生看護活動として後に強い影響を及ぼしています。(文中、時代性を考慮して看護婦としました)



Reminiscences of Linda Richardsより

参考文献

- 1 同志社編 同志社百年史資料編II,1979
- 2 Linda Richards Reminiscences of Linda Richards, America's First Trained Nurse,1915
- 3 宮崎和加子他 在宅ケアの探究者たち
保良せき その1, コミュニティケア, Vol.5, No.5

トピックス

図書館システムを更新

図書館では、昨年度から図書館システムのバージョンアップの作業を進めていましたが、2012年9月18日に新バージョン (iLiswave-J V2[富士通株]) が本稼動しました。

新バージョンの図書館システムでは、

- ・利用者レビュー、コメント機能 (図書感想が投稿できるようになりました。)
- ・電子リソースへのリンク表示 (電子ジャーナルへのアクセスが便利になりました。)
- ・新着案内、お知らせ等の更新配信 (更新された情報が容易にわかるようになりました。)

など、利用者にとって便利な機能が新たに追加されました。

また同時に図書館ポータルサイトも更新しました。このポータルサイトでは、国立国会図書館や各種データベースの情報を一括して検索できる機能があり、一度の検索で多様な結果を得ることができます。アンケート回答や行事への参加申し込みもネットから可能ですので、図書館からの情報発信を今後も強化していきたいと思えます。



図書館ポータルサイト

図書館アンケート実施

2012年11月12日から12月18日まで図書館アンケートを実施しました。ポータルサイトからの回答も合わせて34件の回答がありました。ご協力ありがとうございました。

図書館の環境は概ね普通以上の評価でしたが、利用者のマナーが悪く、うるさいといった意見も寄せられており、利用者への呼びかけや館内レイアウトを変更してグループと個人を分離するなどの対策を検討していきたいと思えます。また、充実すべき図書資料として、専門図書と教養図書の回答が多く、今後の図書資料購入の参考にさせていただきます。

学生選書ツアー

2012年度は学生選書ツアーを2回 (1回目は6月に紀伊國屋書店梅田本店、2回目は11月にジュンク堂書店大阪本店) 実施しました。計7人の参加があり、162冊の図書を購入了。



枚方分館ニュース

枚方分館では、薬学部に加えて昨年増設の看護学部の皆さんなど、利用者から日々寄せられる声をもとに、図書館の利便性やサービス業務、利用環境などの改善を行っており、今回はそうした内容の一部を紹介します。



所蔵検索端末などの改善と充実

分館では、昨年の夏まで3台の所蔵検索端末で運用していました。本館と同時期の9月から新機種で5台に増設しました。利用者の検索履歴が後からの利用者に分からなくなるように工夫されています。

これに伴い従来の利用者用パソコン4台を含め、セキュリティ対策の都合により所蔵検索以外の情報検索に使用する場合には、利用者IDとパスワードが必要になっています。情報メディアセンターで交付されたIDとパスワードでアクセスしてください。

特集資料展示・選書フェアなどの実施

特集展示コーナーでは、時事の話題からテーマを選び1年を通じ所蔵資料を展示・案内しました。

特集コーナーは、利用者の皆さんからの声をもとにテーマを選ぶことも可能ですので、カウンターへお声掛けください。

また、分館初となる専門資料の選書フェアを実施し、多くの貴重な意見に触れることができました。これを基にたくさんの資料が選ばれ、収集することができた資料は、9月の特集コーナーで展示紹介することができました。



No.	展示時期	展示内容
1	2012年5月	雨(水・季節・過ごし方)
2	2012年7月	2012年度第1回学生選書ツアー
3	2012年8月	薬害について
4	2012年9月	選書フェアで選ばれた本
5	2012年10月	日本の文化
6	2012年12月	2012年度第2回学生選書ツアー
7	2013年1月	痛み・麻酔・緩和
8	2013年2月	走る

(2012年度分館特集展示一覧)

仮想本棚の図書紹介サービスの実施

2010年度からWeb上の仮想本棚サービスBooklog (ブックログ)で、推薦図書や新刊図書などの紹介サービスを実施しています。

表紙の画像や推薦文、読者の声などが参照でき、内容を想像することができるようになっており、スマートフォンや携帯電話からもアクセス可能です。

是非一度クリックしてみてください。

URL <http://booklog.jp/users/setsunanhira>

利用環境、その他の改善

開設2年目を迎える看護学部用の図書資料については、重点的に資料収集を行った結果、その充実感は一層増えています。一方、書架の案内表示を新しく張り替え、分かりやすくし、また、古く座り心地が悪かった閲覧椅子を多数新しいものに入れ換え、安心してゆっくりと落ち着いて利用できるようになりました。

図書館利用統計

図書館ではより良い図書館運営のために利用状況の調査、アンケートの実施などを行っています。ここでは2010年度、2011年度利用統計と、2012年度上半期に本館で貸出の多かった図書について報告します。

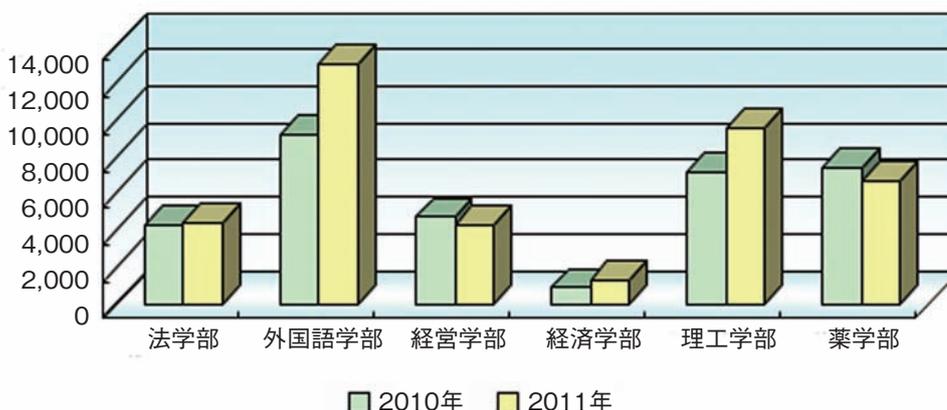
入館者数 貸出冊数

2011年度は、前年度に続いて入館者・貸出者数・貸出冊数のいずれにおいても、トータルでは1割程度の増加がありました。

区 分		本 館	分 館	計
開館日数	2011年度	275日	275日	—
	2010年度	276日	284日	—
入館者数	2011年度	276,585人	81,678人	358,263人
	2010年度	262,619人	99,077人	361,696人
貸出者数	2011年度	20,585人	3,862人	24,447人
	2010年度	18,077人	4,529人	22,606人
貸出冊数	2011年度	38,347冊	7,314冊	45,661冊
	2010年度	32,125冊	8,294冊	40,419冊

学部別 貸出冊数

経営学部と薬学部は微減となりましたが、全体的な貸出冊数は増加傾向にあります。



2012年度 上半期貸出 ランキング

今回も本館3Fのリーディングラウンジに配架されている本がよく借りられました。その他ではやはり映像化された作品がよく読まれました。

*資格・就職に関する本は除いたランキングとなっています。

タイトル	貸出回数
テルマエ・ロマエ/ヤマザキマリ著	11
ビッグ・トゥモロウ 5月号	8
バガボンド/井上雄彦著	8
麒麟の翼/東野圭吾著	7
新TOEICテストが簡単になる本：基礎をじっくりやるのが本当の近道だ！リスニング編/キム・スヒョン著	7
二つの名前を持ったネコ：Level 1(1000 - word)/アラン・ポズナー著	7
ドラえもん(Shogakukan English comics)/藤子・F.不二雄著	7
カッコウの卵は誰のもの/東野圭吾著	7
下町ロケット/池井戸潤著	7
もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら/岩崎夏海著	7

図書紹介

すでに映画化されていたり、まもなく映画化・上映される話題の作品の原作を、本館・分館所蔵のさまざまなジャンルから選んでご紹介します。「観てから読む」派のかたもご参考ください!

「小さいうち」(2010年:中島京子) 第143回直木賞受賞作品

時代は戦時中、舞台は東京郊外のモダンな小さい家。その典型的な中流家庭に女中として働いた主人公「タキ」さんの回顧録から始まる物語。タキさんが実在するとしたら、作者の中島さんは、お孫さん世代になるのではと推測するが、時代背景など、まるで中島さんがその時代を見てきたかのようなリアルさで描かれている。特に当時の庶民の主婦の生活ぶりが克明。昭和生まれの方のなかには、ご家族から似たような体験談を聞かされた方もおられるのでは。そういう視点では、「戦中戦後庶民生活史」のようでもあり、学生のみなさんには感情移入しにくく、多少現実味や面白味に欠けるかもしれない。他方、各書評では、「奥様」と、旦那様の会社の部下でこの家族と交流のあった青年との「永遠の謎」がテーマの、「恋愛小説」であると紹介されている。

昨年末、山田洋次監督によって映画化されることが発表され、監督ご自身も「初めてのラブストーリーに挑戦する」と発言されている。しかしこの作品の「主題」、簡単に「ラブストーリー」に「分類」してしまっていないものかとも思う。2013年3月よりクランクイン予定、キャスト未定。どのように脚色されるのか注目したい。(※2013年1月末現在)

(本館・2F 普通図書フロア 請求記号913.6N)

「レ・ミゼラブル」(1862年:ヴィクトル・ユーゴー) ロマン主義フランス文学の大河小説

一片のパンを盗んだために激動の人生を送ることになる主人公ジャン・バルジャンの物語。日本では「ああ無情」というタイトルで、児童向けにエピソード編集・書籍化もされているので、あらずじけなら知っているという方も多いのでは。

罪を悔い改めたのち、生涯かけて慈悲と誠実と愛の信念のもとに行動した彼のような生きざまは、現代の皆さんの目にどのように映るのか。見返りを望まない正しい行いなど、きれいごと過ぎず、時には馬鹿らしく思えるのも確か…。だからこそ彼も、時に葛藤し、自分自身に問いかけ続けることで、自らを律する。

今なお、感動した本・推薦する本、の上位にランキングされる名作。

なお、2012年12月から公開されたイギリス制作の映画版は、ミュージカル作品が元となっているが、原作をも踏襲し、大河小説をうまくまとめている。また、暴動のさなか、マリユスを救出する場面などはアクション映画さながら、重苦しくなりがちな情景も、映画ならではの躍動感あふれる映像で見せている。

(本館・1F フマニオールコーナー 請求記号080Iほか)

(分館・2F フマニオールコーナー 請求記号953.6H1~4)

「ものすごくうるさくて、ありえないほど近い」(2005年:ジョナサン・サフラン・フォア [2011年邦訳]) 9.11事件を題材にした作品の金字塔・世界的ベストセラー

9.11事件(アメリカ同時多発テロ事件)で父親を亡くし、心に深い傷を受けたオスカー少年。遺品の1本の鍵と、「ブラック」とだけ書かれた一片のメモを、父が残した何かのメッセージだと信じ、その解明に、喧騒のニューヨークを日々さまよう。距離をおいて息子の行動を見守る母親や、戦争経験者の祖父母。彼の冒険に連れ立つようになる元従軍記者の老人。やがて真相をつきとめた彼は、本当は自分は孤独ではなかったのだと気づき、ラスト数ページは、彼が呪縛のようなものから解き放たれつつあることを示唆している。もしも、最愛の人を突然失ってしまったら…。きっと誰もがすぐにはその現実を受け入れられず、現実逃避、あるいは何かに執拗にすがること、心のバランスを保とうとするだろう。

阪神淡路大震災から18年、東日本大震災から2年。この1月にはアルジェリアのテロなど、記憶から消し去りたいほど辛い出来事ではあるが、語り継ぎ、風化させないことで、平和であることの大切さを忘れずにいたい。原作は、紙面上に「ビジュアルライティング」と呼ばれる手法を用いて書かれており、この本1冊がフォトアートであり、書簡であり、詩文であり、そして原稿そのものでもある。2011年の映画化作品では、映像化されることにより、「ビジュアルライティング」の特性が生かされなかった点が否めない。

(分館・2F 普通図書 請求記号933.7E)

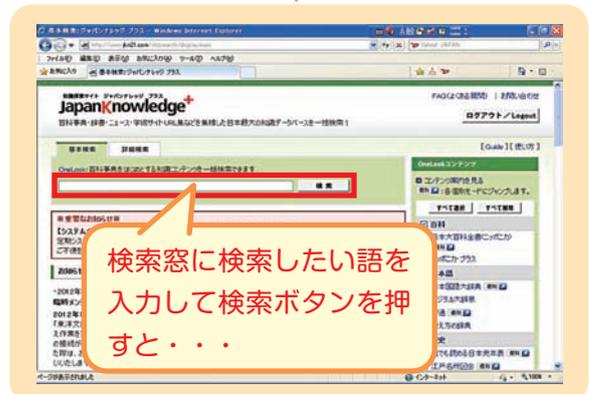
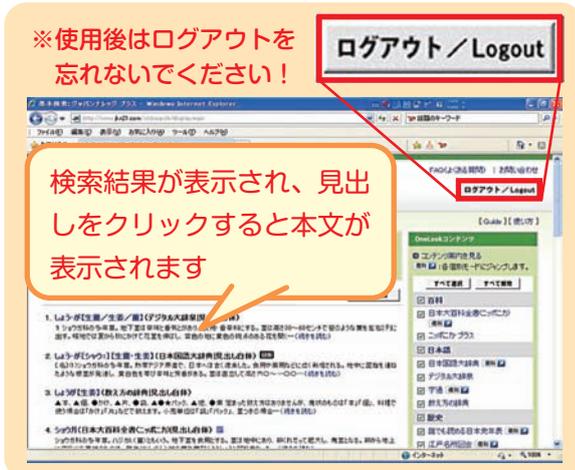
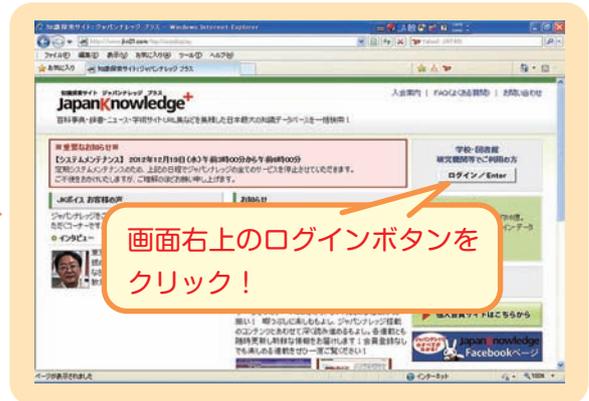
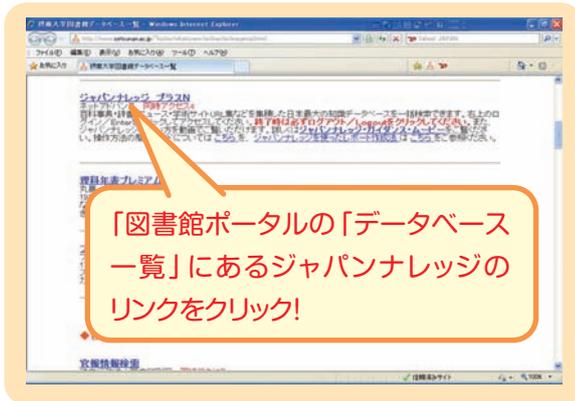
レポートの
作成に最適!

知識探索サイト ジャパンナレッジ プラス
JapanKnowledge+

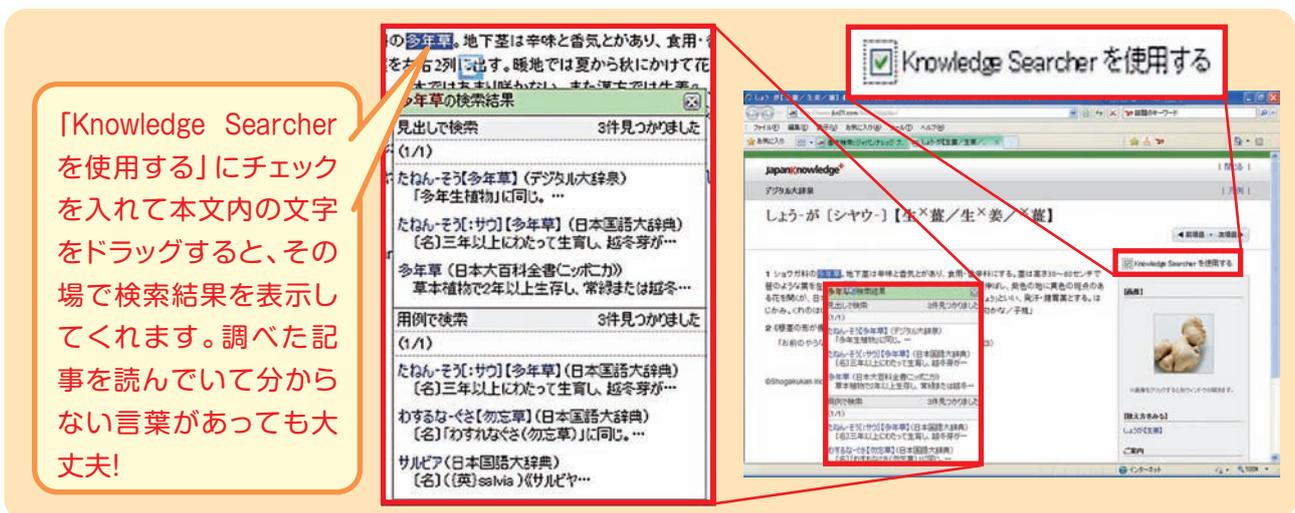
知ってる人だけ
トクをする?

ジャパンナレッジを活用しよう!

基本的な使い方



便利な機能 その1 Knowledge Searcher

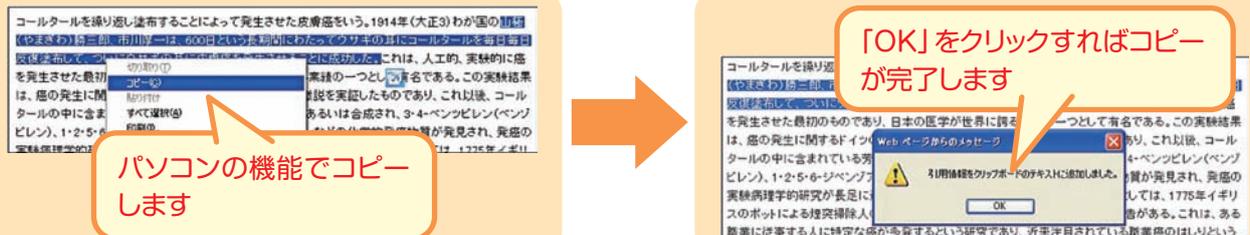


便利な機能 その2 引用元挿入機能



「Knowledge Searcherを使用する」のチェックボックスからチェックは外しておいてください

ジャパンナレッジで検索した記事を読んでいて、引用したいところがあったらその範囲をマウスでドラッグして選択します



パソコンの機能でコピーします

「OK」をクリックすればコピーが完了します



ワープロソフトなどにコピーしたテキストを貼り付けると、本文と一緒に引用情報もペーストされます

上記の場合の引用元情報例

項目(タイトル)名: " タール癌"

コンテンツ名: 日本大百科全書(ニッポニカ)

データベース名: ジャパンナレッジ(オンラインデータベース)

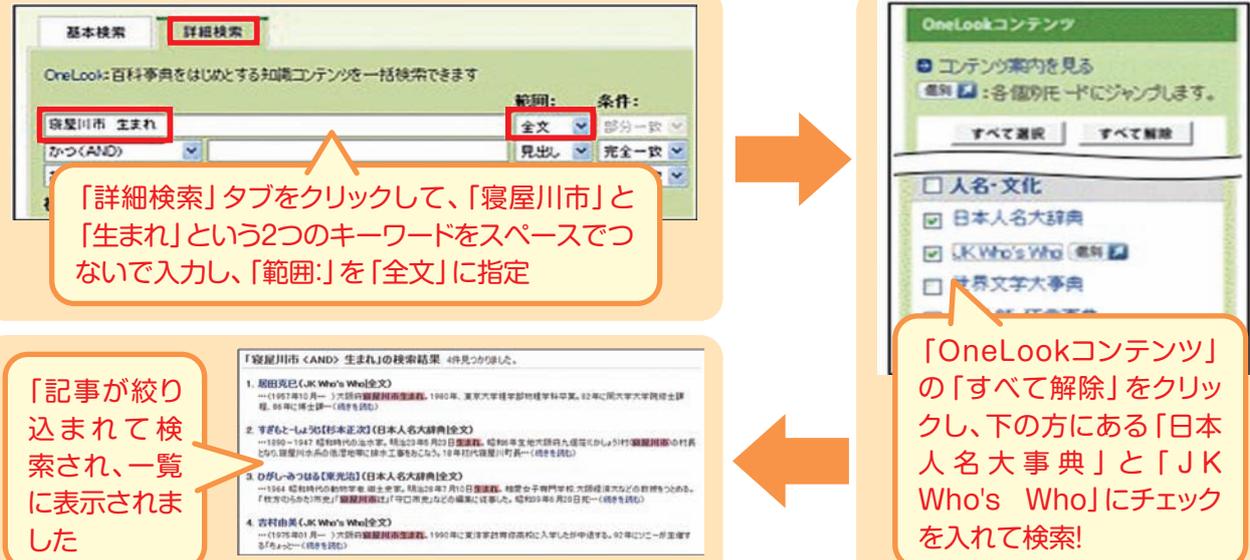
URL: 入手先<http://www.jkn21.com>

参照した日時: (参照 2012-12-06)

- ・この機能は、使用しているブラウザがマイクロソフト社の「Internet Explorer」である場合のみ有効です。FirefoxやGoogle Chrome等他のブラウザでは機能しません。
- ・コピーした文が19文字以下の場合には機能しません。
- ・『会社四季報』では、この機能は使えません。

便利な機能 その3 全文検索とコンテンツ指定で絞り込み検索

基本検索では見出しを検索するのでなかなかコンテンツにたどり着けない場合も。そんな時は検索するコンテンツを指定して、範囲を全文にして検索すれば効率よく絞り込めます!



「詳細検索」タブをクリックして、「寝屋川市」と「生まれ」という2つのキーワードをスペースでつないで入力し、「範囲:」を「全文」に指定

「記事が絞り込まれて検索され、一覧に表示されました

「OneLookコンテンツ」の「すべて解除」をクリックし、下の方にある「日本人名大事典」と「JK Who's Who」にチェックを入れて検索!

横断検索をやってみよう!

図書館ポータルから横断検索が可能になりました

2012年9月に図書館システムが新しくなりました。リニューアルに伴いこれまでのOPAC検索だけでなく、電子ジャーナルポータルやCiNiiといったサイトを統合して横断検索できる機能が追加されました。探している本や論文が探しやすく、ぐっと便利になりましたのでその機能を一部ご紹介します。

図書館ポータル: <http://ufinity01.jp.fujitsu.com/setsunan/>

学術情報横断検索

◆学術情報検索キーワード入力欄

生成文法

全サイト横断検索 Search

検索先の個別選択 | 詳細検索画面へ

図書館ポータルの右上にある「学術情報横断検索」のキーワード入力欄に検索したい語を入力して「Search」ボタンをクリックします



入力したキーワードをもとに、摂大OPACをはじめ、CiNiiや電子ジャーナルポータル、Amazonや紀伊國屋Bookwebなど18サイトを横断検索し、結果をリスト表示します

現在左に検索結果を表示しているサイト名を表示します。全てのサイトの結果を表示したいときは、「全てのサイト」をクリックします

「本文・連携サービス」と表示されている場合は、ここをクリックすると直接本文にアクセスします

検索結果の見出しをクリックすると、検索先サイトのページにジャンプします

より詳しく検索するには

図書館ポータルからは簡易検索機能で検索されますが、詳しい検索をしたい時は詳細検索機能を利用して、より絞り込んだ検索をすることができます。



検索結果画面の左上にある「詳細検索」ボタンをクリックします



資料種別: 全て 図書 雑誌 論文
 タイトル:
 著者名:
 出版者:
 出版年:
 ISBN/ISSN:
 表示順:
 表示件数: 10

検索条件を入力の上、検索先サイトを選択し検索ボタンを押してください

◆ 検索先サイトリスト

グループ名	サイト名		
検索先サイト	<input type="checkbox"/> Webcat Plus	<input type="checkbox"/> NDL Search	<input type="checkbox"/> Amazon
	<input type="checkbox"/> 紀伊國屋BookWeb	<input type="checkbox"/> CiNii Articles	<input type="checkbox"/> CiNii Books
	<input type="checkbox"/> Science Direct	<input type="checkbox"/> 360CORE	<input type="checkbox"/> 医中誌Web
	<input type="checkbox"/> J-STAGE	<input type="checkbox"/> Pubmed	<input type="checkbox"/> Library of Congress
	<input type="checkbox"/> 工大webOPAC	<input type="checkbox"/> 摂大webOPAC	<input type="checkbox"/> 広国大webOPAC
	<input type="checkbox"/> Google Scholar	<input type="checkbox"/> DOAJ	<input type="checkbox"/> JAIRO

初期状態では検索先サイトのチェックは全て外れていますので、検索したいサイトにチェックを入れて「検索」ボタンをクリックしてください

Copyright (C) 富士通 2008 All Right Reserved.

検索先サイト：

Webcat Plus	NDL Search	Amazon
紀伊國屋BookWeb	CiNii Articles	CiNii Books
Science Direct	360CORE	医中誌Web
J-STAGE	Pubmed	Library of Congress
工大webOPAC	摂大webOPAC	広国大webOPAC
Google Scholar	DOAJ	JAIRO

【摂大文化大賞入選作品決定】

2012年度摂大文化大賞の作品募集の結果、自由テーマ部門(写真、絵画等)に18点の応募がありました。(図書紹介ポップ部門への応募はありませんでした。)公開投票および図書館運営委員による審査の結果、つぎのとおり入選作品が決定し、1月25日に表彰式を行いました。



賞	作品名	自由テーマ部門	学部	年次	氏名
大賞	解かれし封印	けしゴムはんこ	法学部	3	土井 辰也
自由テーマ部門 優秀賞	倫敦鳥	写真	経済学部	2	匿名
人気賞	空中遊泳	写真	法学部	3	高野 日奈子
入賞	① ニョキッ!	写真	法学部	3	中谷 祐太
	② 雲海	写真	法学部	2	北之園 建志
	③ 希望の眼差し	絵画	経営学部	3	法橋 沙季



大賞



自由テーマ部門 優秀賞



人気賞



入賞①



入賞②



入賞③



＜編集後記＞

選書ツアー、選書フェアなど、利用者の皆さんが必要な図書を図書館に配架できる機会を設けていますが、まだ参加者が少ないのが現状です。図書を手にとって選書できますので、皆さんの積極的な参加をお願いします。

看護学部の1期生を迎えた枚方分館では、昨年度に続き、館内設備の改善を行いました。本館でも2013年度には閲覧椅子の一部更新を計画しています。

Smart and Human

常翔学園

摂南大学



「学而」摂南大学図書館報 No.94 2013.3

編集・発行 常翔学園 摂南大学 図書館

本館 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 TEL.(072)839-9111

分館 〒573-0101 大阪府枚方市長尾峠町45-1 TEL.(072)866-3102

URL:<http://www.setsunan.ac.jp>

常に成長！前進！広がる常翔教育！

常翔学園グループ 摂南大学、大阪工業大学、広島国際大学、常翔学園中学校・高等学校／
常翔啓光学園中学校・高等学校